



**2025年度**

# **事業実績**

**自 2025年 4月 1日  
至 2026年 3月31日**

# 2025年度活動まとめ



- 豊田新会長のもと、「**クルマをニッポンの文化に！**」を合言葉に、**新しい活動をスタート**
- **税制要望や自賠責保険で大きな成果**

## 従来からの継続活動

### ✓ 税制要望活動

環境性能割の恒久廃止実現

### ✓ 自賠責保険繰入金返還活動

全額（5,741億円）一括返済

### ✓ CSP大賞 第5回実施

### ✓ 委員会・講演会・視察会等 計画通り開催

## 新しい活動

### ✓ モータースポーツ委員会立ち上げ

3つのタスクフォースで課題議論

### ✓ 日米自動車文化交流イベント開催

NASCARデモラン@富士スピードウェイ

### ✓ 会員拡大

162→188へ増加

## 定時総会を開催 豊田新会長就任と定款変更

### ■ 第91回定時総会・第222回理事会(2025年6月10日 経団連会館)



総会・理事会会場（経団連ホール）

#### 1. 定時総会：4議案を承認

- ① 2024年度事業実績
- ② 2025年度事業計画
- ③ 定款変更

法人の目的に「自動車に関わる文化の向上」  
「モビリティ社会の発展」を追加 等

- ④ 理事選任

5名新任・4名退任

#### 2. 理事会：3議案を承認

- ① 豊田章男氏を新会長に選定
- ② 喜谷辰夫氏・坂口正芳氏を副会長に選定
- ③ 内山田前会長を名誉顧問に委嘱

#### ■ 運営審議委員会

(委員長：松永明 自工会副会長・専務理事)

・総会上程議案審議(5/16)



# 税制

## 2026年度からの環境性能割の恒久廃止が実現

### ■ 会議所税制委員会 税制改正要望書とりまとめ (10/24)

(委員長：佐藤康彦 自販連法規・税制委員長)

#### 2026年度改正 最重点要望

- 内需拡大（国内生産基盤維持）のためにも**環境性能割は単純廃止**
- ガソリン税・軽油引取税の暫定税率廃止の代替財源について、**車体課税への付け替えやユーザー負担増につながることは絶対反対**

[会員 38 団体連名]

### ■ 政党ヒアリング等に対応

#### 1. 自民党 ヒアリング(11/12)



#### 2. 公明党 自動車議員懇話会ヒアリング(11/25)



■ 2026年度税制改正大綱結果 環境性能割の恒久廃止・重量と環境性能に応じた課税検討が明記



	概 要
取得	○環境性能割(自動車税・軽自動車税)の恒久廃止(FY26～) (減税規模▲1,900億円)
保有	①自動車税・軽自動車税
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量と環境性能に応じた税負担の仕組みを検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV・FCV（新車）に重量に応じた課税を導入</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン化特例：現行のまま2年延長</li> </ul>
利用 (燃料)	②自動車重量税
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV・PHEV（自家用乗用車）に車両重量に応じた特例加算を導入(FY28～)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコカー減税：一部縮減し2年延長</li> </ul>
	○軽油引取税の暫定税率の廃止（FY26～） (ガソリン税は租特法改正により2025年12月末で暫定税率廃止決定済)
	* 安定財源を確保するため引き続き検討を行う

今年度結論

今年度結論



# ■ JAF・自動車税制改革フォーラム（関連21団体で構成）による世論喚起活動



2025統一活動デザイン

- 1. 自動車税・軽自動車税 納付期間（5月） 関連活動
  - 4月 ・JAF **自動車税制ユーザーアンケート**（4/24～8/7）
    - ・HP・SNSによる拡散活動
  - 6月 ・全国**主要8都市 ユーザーの声** **チラシ配布等** 街頭活動
- 2. 税制改正論議時期 本格活動
  - 10～11月 ・全国**47都道府県**で街頭活動
    - ・**JMS2025** では来場者にボードに**ユーザー生の声の書き込み**



JAF・フォーラムSNS 発信



街頭活動の様子(11/14 東京・田町)



JMSで集まったユーザーの生の声の書き込み



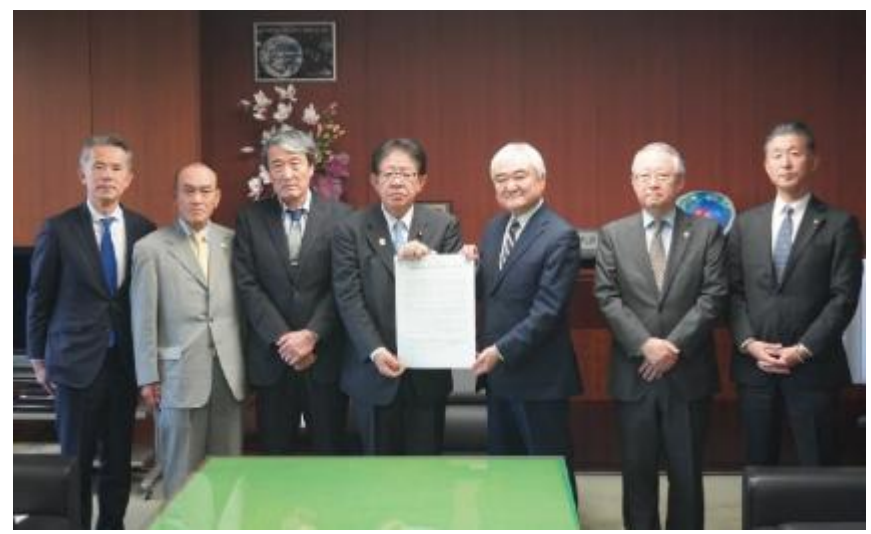
# 保険（自賠責保険）

## 自動車安全特別会計から一般会計への繰入金 **全額一括返済**

- 2003年度を最後に15年間繰戻しがされなかったが、2018年度から再開
- 継続的な国交・財務大臣等への要望活動により、徐々に増額。今回の一括返済が実現

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
繰戻額 (億円)	23	49	48	55	66	73	100	65+ <b>5,741</b>

要望活動①金子国交大臣（11/19）



要望活動②片山財務大臣（12/5）





## 3回開催（7・11・3月） タスクフォース（TF）で課題解決に向けた議論中

- 第2回を公開会議として、各団体トップがジャパン・モビリティ・ショーで様々な課題について議論
- 3つのタスクフォースを設置し、具体策について検討を開始

### 【モータースポーツ魅力向上TF】

- ・情報発信強化（SNS・ウェブサイト）
- ・事業構造・収益状況の見える化

### 【人材TF】

- ・若年層オフィシャル確保
- ・2027年 シーズンカレンダー

### 【DX・通信TF】

- ・サーキットの電波改善
- ・競技運営のデジタル化支援

### 今日の議題



サーキットの  
来場者を  
増やしたい！



モータースポーツの  
仕事をしたい人を  
増やさなきゃ！



DXに  
乗り遅れてる！



日程調整で  
いつも揉めてる！





# クルマ・バイクファン拡大

## 富士スピードウェイで日米自動車文化交流イベント(NASCARデモンストレーション) 開催

(一財)トヨタモビリティ基金による助成事業

### イベント概要

日程：11月15日（土）～16日（日）（スーパー耐久レース最終戦と同時開催）

会場：富士スピードウェイ（静岡県小山町）

目的：よりよいモビリティ社会を実現する次の100年を担う人材の育成

#### 内容：

##### 1. 文化交流

(1) 6台によるデモンストレーションラン

(2) イベント広場での車両展示および体験コーナー設置

##### 2. 子供招待

さまざまな事情を抱えた子供たちを本企画に招待し、自動車産業やモータースポーツ業界へのあこがれを醸成



グラス駐日大使をお迎えしたセレモニー



6台のデモカーと記念撮影

本事業で日本自動車会議所は、（一社）スーパー耐久未来機構などともに、「2025-2026 日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会特別賞」を受賞



# クルマ・バイクファン拡大

## 「文化」「モータースポーツ」を軸にSNS発信強化開始

■ イベント時のSNS発信（X投稿）実施により、アクセス数が大幅に増加

日本自動車会談所 @abaorjp · 2025年8月1日

「2000・2332・2215・911・3298・86・2525・32  
ナンバープレートは愛車の顔  
これもニッポンのクルマ文化の一つです！」 #豊田

詳しくは → [aba-j.or.jp/info/news/2450...](http://aba-j.or.jp/info/news/2450...)

日本自動車会談所 @abaorjp · 2025年8月25日

#SUPERGT 第5戦鈴鹿にて #松田次生 選手 参戦200戦、日本人2人目の偉業を達成!!  
モータースポーツとクルマの素晴らしさを長く表現していただいたことへの感謝の気持ちとして、日本自動車会談所 会長 #豊田章男 より記念盾を贈呈しました。  
松田選手おめでとうございます!  
#クルマをニッポンの文化に

日本自動車会談所 @abaorjp · 2025年11月16日

モータースポーツを通じた日米自動車文化交流イベントとして、#富士スピードウェイにて #NASCAR のデモランを行いました。  
ゲストにグラス駐日米大使をお招きし、#豊田章男 会長の運転する #フォードF150 でパレードランを先導。迫力の自と走りに大いに盛り上がりました!

日本自動車会談所 @abaorjp · 3月21日

本日のお知らせ

2026年の国内モータースポーツシーズン開幕にあたり、もてぎでオープニングセレモニーを開催しました!  
[aba-j.or.jp/info/news/2618...](http://aba-j.or.jp/info/news/2618...)

#豊田章男  
#モータースポーツをニッポンの文化に!  
#クルマをニッポンの文化に!

## ベストカー誌との連携 ＜自動車博物館訪問①＞

ベストカー @bestcarmagazine

トヨタ博物館館長は初のエンジニア出身者!! 館長が教えてくれた日本車が海外で人気沸騰するワケは?  
#2000GT #カローラ #博物館 #顔文字D

エンジニア出身の博物館館長が語る「展示」のあり方

エンジニアとして初めてトヨタ博物館の館長になったという高橋謙司さん。まずは今年の4月に辞令を受けた時の印象を聞いてみた。

「施設トヨタ博物館と隣り合わせがあったわけでもなく、クラシックカーに詳しいということもありませんでしたので、正直驚きでしたが、クルマに囲まれて仕事ができるというのはなかなか素晴らしいという素晴らしい気持ちになりました。

ただ、少しプレッシャーはありますね。館下から『これを読んでみてください!』といういろんな本や資料を読んで勉強するように言われますし(笑)。海外のVIPがいらしたりもしますので。

ある日の駐日大使がいらして、『しくじった名品展示にならないか?』とか、それは冗談ですが……お客様が充分よく博物館を楽しんでいただくよう、おひよりおひよりのことを考えるようになりました。

エンジニアからサービス業に異動になったのだから、厳しいはあったはずですが、何かが面白そうと考えられるところが体験の理由がもたれない。またエンジニア出身だけに顧客の立場に立つて展示車の性能や特徴を語ることを期待されているのかもしれない、そのあたりについて

「クルマには1台1台ストーリーがあります。開発者が何に悩み、どう解決したのかも想像できることがあります。クルマの歴史やイベントでそれをしっかりと伝えられるといいですね。またクルマで遊べるとよく聞かれますが、クルマの歴史やクルマの楽しさが充分に伝えられていないという反省があります。

文化&モータースポーツ





# CSP（クルマ・文化・社会・パートナーシップ）大賞

56件の候補から(株)アイシン“乗り合い送迎サービス「チョイソコ」”を大賞に選出

■ クルマ文化の向上、社会・業界に果たしている貢献に対して「ありがとう」を伝え、取り組みの広がりを目指す

■ 2025年度 第5回CSP大賞 14受賞者



クルマ・文化・社会・パートナーシップ大賞

賞名	実施者名	企画名
大賞	アイシン	乗り合い送迎サービス「チョイソコ」
選考委員特別賞	ウェルカムライダーズおがの	オートバイによるまちおこし
	トヨタ自動車	DRIVE RECORDER119
モビリティ・ソリューション賞	アイシン	道路維持管理支援サービス「みちログ」
	坪井自動車钣金	福祉車両改造・環境配慮等
地域・コミュニティ活性化賞	愛三工業	自転車から広がる地域の未来
	アデル・カーズ	クルマ文化継承＋環境＋地域連携
	三井住友海上	キッチンカーによる避難所改善
環境貢献賞	株式会社ブロードリーフ	GrowLeafプロジェクト
	トヨタ紡織	森林づくり・環境教育
	東海理化	THINK SCRAP
くるまファン拡大賞	豊田自動織機	夢のくるまコンテスト
	神奈川スバル	SUBARU思想とファンづくり
	Team MARI	レディースライディングスクール海外展開



表彰式(3/16) 受賞者との記念写真



# CSP大賞：補足

- 目的** : (1) 自動車業界で働く人々や、ユーザーを含めた自動車にかかわる全ての方々が、クルマ文化の向上をはじめ社会や自動車業界に果たしている貢献に対して「ありがとう」を伝える  
(2) 地道な作業に従事する現場の方々に光を当てる  
(3) 表彰を通じてその取り組みを紹介することで、それらが横展開される一助とする
- 主催** : 日本自動車会議所、日刊自動車新聞社
- 沿革** : 日本自動車会議所創立75周年記念事業として2021年に創設
- 応募分野** : クルマ文化向上、ファン作り、モビリティによる課題解決、地域活性化、環境課題解決
- 応募者** : 自動車販売会社、部品メーカー、業界団体、地方自治体等
- 選考方法** : 応募の内容を有識者による選考委員が審査し、受賞者を決定
- 選考委員長** : 蓮花 一己（一社）日本自動車連盟（JAF）副会長 帝塚山大学名誉教授
- 受賞種類** : 大賞、選考委員特別賞、部門賞

年度	大賞受賞者・テーマ	応募数
2021	茨城県境町：住民の手でなしとげた国内初の自動運転バス社会実装	75
2022	十勝バス：バスによる移動スーパー等アナログ重視型MaaS実装	68
2023	自動車技術会：子供達に無償で車の科学技術等を教える教育活動	62
2024	全国軽トラ市でまちづくり団体連絡協議会：軽トラ市による商店街活性化活動	46
2025	アイシン：乗り合い送迎サービス「チョイソコ」	56



# 交通安全

## 新宿警察署・37会員団体等と連携し啓発イベント「交通安全アクション」を定例開催

### ■「交通安全アクション2025」 2日間で家族連れなど3,700人が来場

【開催日】 2025年4月5日(土)・6日(日)  
 【会場】 新宿駅西口広場イベントコーナー  
 【主催】 日本自動車会議所・警視庁新宿警察署  
 【後援】 内閣府、警察庁、国土交通省、東京都、警視庁交通部



警視庁・NASVAのマスコットキャラクターとともにオープニングセレモニー

### ■交通安全イベントへの協力

<地元警察など>

- ・東京都防災イベント (愛宕警察署・4月)
- ・交通安全イベント (新宿警察署・5月)
- ・交通安全イベント (千住警察署・9月)
- ・12/1-5 日本自動車会館ロビーに事故被害者遺族の創作作品展示 (自動車事故対策機構(NASVA)と協力)

<全国会議所イベントへの機器貸出>  
 岐阜、福島、高知、富山、岐阜、神奈川、三重





# 道路・交通委員会／経済・産業委員会

官庁・団体から関連動向の情報共有を継続 企業会員にも出席を拡大

## ■道路・交通委員会 (委員長：重田雅史 全日本トラック協会理事長)

### (1) 第1回 (11/19)

テーマ	説明者
物流政策の概要	国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 課長補佐 内田大道氏
道路関係予算・施策の最近状況	国土交通省 道路局 企画課 企画専門官 田中洋介氏

### (2) 第2回 (3/30)

テーマ	説明者
交通事故の特徴と 各種交通安全対策について	警察庁 交通局 交通企画課 課長補佐 緒方友幸氏
安心・安全、そして移動価値	日本自動車連盟(JAF) 理事 酒井明夫氏

## ■経済・産業委員会 (委員長：小糸正樹 自販連副会長・専務理事)

### (1) 第1回 (11/20)

テーマ	説明者
自動車産業を取り巻く動向等	経済産業省 製造産業局 自動車課 課長 伊藤政道氏

### (2) 第2回 (3/12)

テーマ	説明者
自動車産業を取り巻く動向等	経済産業省 製造産業局 自動車課 課長 伊藤政道氏





# 会員サービス・日本自動車会館関係

## 各種関連行事・イベントを定例開催

### ■ 会員研修会 計5回開催

開催日	テーマ	講師
2025 5/15	日本の環境・エネルギー政策のあり方	国際環境経済研究所理事 竹内純子氏
7/28	日本の自動車産業における効果と効率	早稲田大学大学院教授 長内厚氏
9/30	交通心理学が交通安全に貢献できるか	帝塚山大学名誉教授 蓮花一己氏
12/11	2026年自動車産業の展望	ナカニシ自動車産業リサーチ代表 中西孝樹氏
2026 3/27	自動運転関連	東京工科大学教授 須田義大氏

### ■ 日本自動車会館交流会(10/7) 150名参加



自工会松永副会長による乾杯で開会

### ■ 国内施設視察会(1/26)

日産自追浜テストコースで試乗会実施



### ■ 全国自動車会議所連携

#### <全国専務理事会>

- ・秋季 東京開催 (2025.10/30-31)
- ・春季 愛媛開催 (2026.2/19-20)



#### <永年勤続者表彰式>

- ・6会議所10名表彰 (2026.3/13 日本自動車会館)